

# 「横手市における 地域善隣事業について」



平成30年4月27日(金) 横手市健康福祉部 高齢ふれあい課 高齢福祉係

# 横手市の概要

〇人 口:91,743人 〇世帯数:34,311世帯

〇高齢者数:33,063人 〇高齢化率:36.04%

○面 積:693.04km<sup>2</sup>(東西45km 南北35km)

〇人口密度:131.19人/km

〇平成17年10月に1市5町2村が合併

〇要介護認定者数:6,815人(要支援:1,022人)

〇介護保険料:5,716円(第6期基準月額)

○公営住宅:1,038戸 ○小学校:17校 ○中学校:8校

〇持ち家率:83.7%(高齢者93.5%)

○空き家軒数:1,551戸 ○空き家バンク登録件数:延63件(うち成約42件)

〇病 院:市立横手病院(229床)、市立大森病院(150床)、平鹿総合病院(586床)、

横手興生病院(精神科335床)

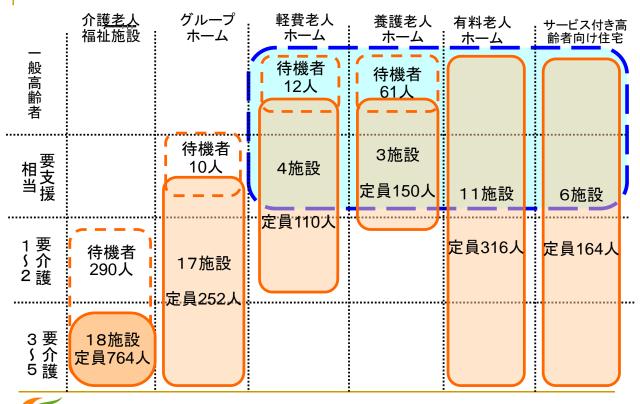


#### 平成29年12月末現在





# 横手市における高齢者入所施設の状況

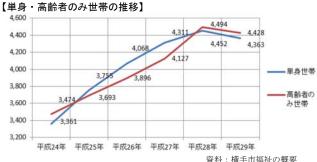


# 低所得高齢者等住まい・生活支援事業について

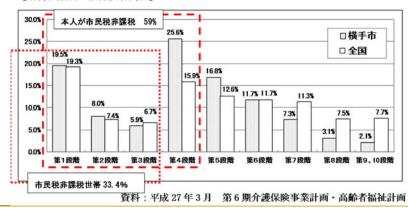
#### 〇背景(1)

- 高齢者単身世帯と 高齢者のみの世帯の増加
- ・所得段階の低い高齢者が 多い。











# 低所得高齢者等住まい・生活支援事業について

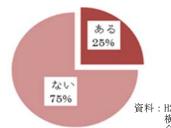
#### ○背景②

- 元気な高齢者が入所できる施設が 少ない。
- 空き家が増えている。
- 高齢者へ貸さない物件がある。
- 住まいの施策が縦割りだった。
- 住まいの相談窓口がない。

#### 【 横手市の空き住宅数 】

住宅 全体	総数	36,070戸
	空き家	3,930戸(11%)
賃貸用の	空き家住宅	1,260戸(3.5%)
内、住宅·	腐朽破損無	1,120戸(3%)

【高齢者に貸さない(もしくは賃貸人が 貸さないと判断している)物件】



資料:H27年度宅地建物取引業協会 横手地区協議会協会会員アンケート調査

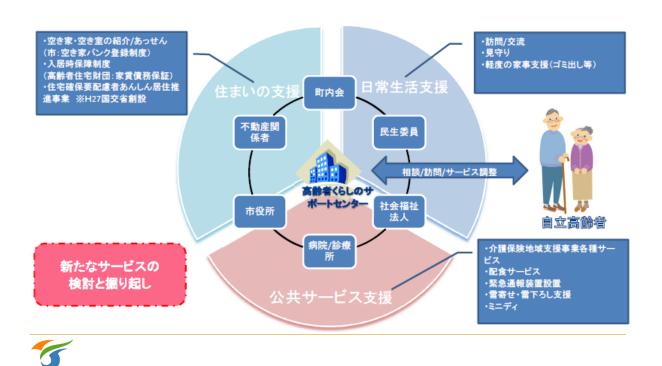
※3.930戸の内、腐朽破損無住宅は2,630戸。 その内訳は、賃貸用住宅1,120戸、二次的住 宅90戸、売却用住宅50戸、その他1,370戸 (内、木造一戸建て・長屋が1,320戸)が流 通していない空き家に相当。

資料: 平成25年住宅·十地統計調查結果(総務省統計局)



#### 地域善隣事業のスキーム

#### 低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業イメージ図







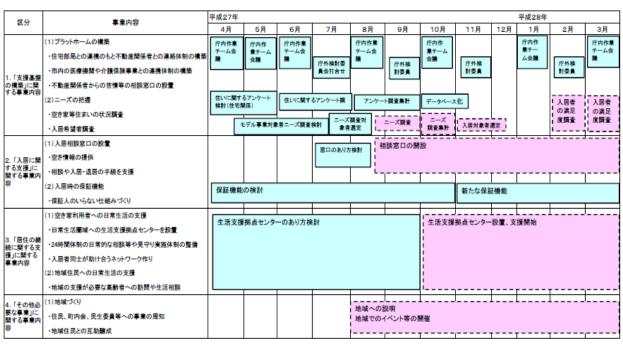
# 市内の社会福祉法人一覧(保育園のみは16法人)

設立許可 年月日	法人名	所在地	経営する主な施設等(事業所数)
S17.10.1	横手市社会 福祉協議会	市内全域	特養(3)、軽費、居宅介護事業所(3)、通 所介護事業(2)
S42.12.9	相和会	横手·山内	養護、特養(3)、軽費、グループホーム、居 宅介護事業所、保育園(2)
H5.6.18	ファミリーケア サービス	横手·増田·大 雄·雄物川	軽費、特養(5)、母子、児童養護、障害福 祉サービス、居宅介護事業所(4)
H6.11.11	横手福寿会	増田	老健、居宅介護事業所(2)、短期入所、グループホーム(2)
H18.10.29	ひらか福祉会	平鹿	特養、短期入所、居宅介護事業所
H21.8.10	横手福祉会	横手	特養、特定、短期入所、居宅介護事業所
H22.4.27	一真会	十文字	特養、小規模多機能、短期入所、居宅介護 事業所
H25.3.18	平鹿悠真会	平鹿	特養、居宅介護事業所
H27.8.17	アヴェク・トワ	十文字•大雄	短期入所、障害福祉サービス



## 初年度の取組計画

低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業実施計画



市で実施 委託先法人で実施(※委託契約予定7月下旬)



## 社会福祉法人 横手福寿会モデル

低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業

「高齢者くらしのサポートセンターりんごの里福寿園」は、 増田地域に居住している概ね60歳以上の方を対象に、

各関係機関等と連携・協力し、

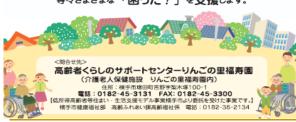
各関係機関等と連携・協力し、 入居支援や生活支援などを提供する事業です。

住居の相談

生活支援の相

の他専門的な

等々さまざまな「困った!」を支援します。





#### 安否確認・生活相談および支援

69)

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の持つ不安感や孤独感を軽減するため、日常生 活の中での安否確認、相談等を行い本人及び遠隔地に在住する親族等に安心感を与 えられるよう支援します。

(対 条 者) 増田町内のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象とする。(概ね60歳以上) ※原則として要支援・要介護認定を受けていない方

①自宅へ訪問しての安否確認(<mark>週1回程度)※場合によっては電話での安否確認</mark> ②各種相談事項へのアドバイス対応及び必要な公的機関との連携 ※支援内容については、安否確認及び相談のみとなります。

下記問い合わせ先に電話にて申し込みください。その後当セン ターよりご自宅に訪問し、利用同意後より支援開始となります。

(利用料金)

利用料金は無料

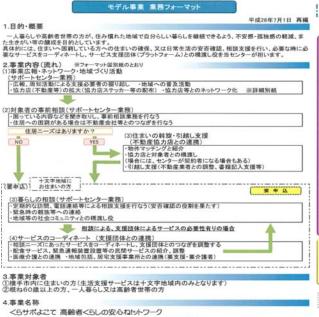
《個人情報保護》 当サポートセンターが知り得た個人情報は、厳正に取り扱うとともに、約款の目的外には使用しません。

お気軽にご相談、お問い合わせください

高齢者くらしのサポートセンターりんごの里福寿園 電話:0182-45-3131 海鎖者等住まい・生活支援モデル事業(横手市より委託を受けた事業です。)

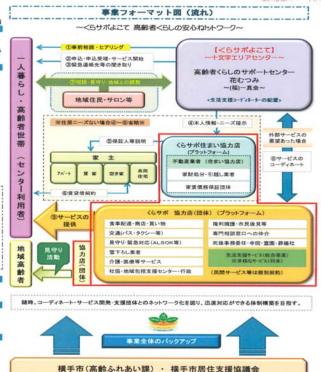


# 社会福祉法人 一真会モデル



キャッチコピー: 誰でも気にしてくれる安心・・・シルバー世代応接団

(1)住まいの強保領準内容 ・物件情報収集紹介・入居契約事務支援・引越し支援(引越作業除ぐ) (2)生活支援サービス標準内容(十文字地域にお住まいの方のみ) ・原制、通1回の定期前間以定期適略、相談、緊急時における複数等への連絡等 ・必要約の外部サービスや協力店(プラットフォーム)との構成し、事務支援 (3)利用料 = 無料(将来的には有料も検討する)





5.相談支援(見守り)サービス内容 (1)住まいの確保標準内容

#### 取組の概要

#### 委託業務の内容

- (1) 電話や窓口での居住相談
- ②相談援助等の生活支援
- ③地域、生活互助意識の形成



#### 受託した二法人が行なったこと

- ①まず周知 民生委員定例会、地域ケア会議への参加 不動産関係者への訪問
- ②チラシの作成 市報へ折り込み管内全戸へ配布
- ③孤立高齢者への訪問実態調査
- ④毎月の三者打合せ



# 1年目の事業実績

- 市民アンケート調査
- 法人と市の担当者打ち合わせ(7回)
- 合同プラットフォーム会議参加者:民生委員、不動産会社、交番、医師、 包括、社協、受託法人、市
- 相談件数 7件 (うち住み替え1件)



#### 1年目の課題

- なかなか事業の周知がすすまない。
- 市南部には住み替えニーズがない。
- そもそも物件がない。
- 1つの社会福祉法人でできることに限度がある。



#### そこで受託法人自身が知恵をしぼることに・・・



- 商店街を練り歩く
- 協力店を募る
- 他業種との連携体制を整える
- 社会福祉法人内部の意識改革
- 居場所をつくってみた などなど



#### 高齢者の住まいと生活支援サービスに関する アンケート調査(横手地域)

平成27年8月1日実施/無作為抽出1,162人/回収675人(回収率58.1%)

Q:1住宅事情について困っていることがありますか。

A: 1. 家賃や修繕等維持費用が高い(95人,23.1%)

2. 住み替えの費用が高い(58人,14.1%) 3. 住み替えの際の保証人がいない(9人,2.2%)

4. 立ち退きを求められている(4人,0.9%)

5. その他(19人,4.6%)



Q:1-1 現在、転居を考えていますか

A: 1. 考えている(30人) 2. 考えていない(172人)

Q:1-2 転居先に何を希望しますか

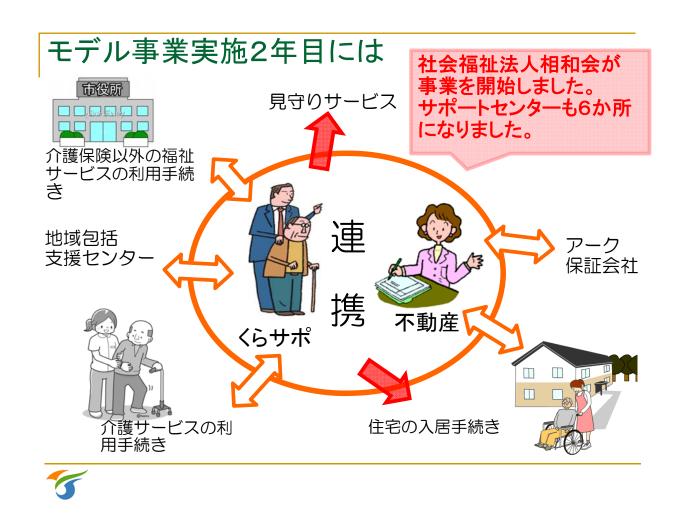
A: 1. 買い物が便利(20人) 5. 子や友人・知人宅に近い(13人)

2. 家賃等が安い(16人) 6. 雪寄せ雪下ろしが楽(24人)

3. 病院が近い(14人) 7. 冬暖かい(14人)

4. バリアフリー(8人) 8. 地域のつながり(11人)





# 社会福祉法人 相和会モデル





## 高齢者くらしのサポートセンター設置状況(H27.9~29.12末実績)

	【増田地域1ヵ所】 平成27年9月設置	【十文字地域1ヵ所】 平成27年9月設置	【横手地域4ヵ所】 平成28年9月設置	
事 業 者	社会福祉法人 横手福寿会	社会福祉法人 一真会	社会福祉法人 相和会	
法人実績	介護老人保健施設、グ ループホーム、訪問介護 事業所、訪問リハビリ、 居宅介護支援事業所、 短期入所	介護老人福祉施設、 小規模多機能型居宅 介護、居宅介護支援 事業所、短期入所	介護老人福祉施設、グ ループホーム、訪問介護、 通所介護、居宅介護、 短期入所、養護老人 ホーム、ケアハウス他	
職員配置	兼務職員5名	兼務職員2名	兼務職員6名	
住替相談	7件	8件(住替5件)	10件(住替5件)	
安否相談	4件(登録3名)	2件(登録2名)	なし	
特 色	譲り受けた空き家で地域拠点づくり	協力店登録による ネットワーク構築	法人間連携での 社会貢献	
H28予算	1,200千円	2, 500千円	1, 300千円	



# 



# 高齢者くらしのサポートセンター設置状況(H27~29年度)

年月	事業者	エリア センター数	職員 配置	実績	特色
H27年 9月	社会福祉法人 横手福寿会	増田 1ヵ所	兼務 5名	安否 3件	地域拠点づくり
H27年 9月	社会福祉法人 一真会	十文字 1ヵ所	兼務 2名	住替え 5件	協力店登録による ネットワーク構築
H28年 9月	社会福祉法人 相和会	横手•山内 4ヵ所	兼務 6名	住替え 5件	法人間連携での 社会貢献
H29年 9月	社会福祉法人 横手福祉会	横手 1ヵ所	兼務 2名	_	周知活動中
H29年 9月	社会福祉法人 平鹿悠真会	平鹿 1ヵ所	兼務 4名	_	周知活動中
H29年 9月	社会福祉法人 ひらか福祉会	平鹿 1ヵ所	兼務 1名	_	周知活動中
H29年 9月	社会福祉法人 アヴェク・トワ	十文字 1ヵ所	兼務 2名	_	未稼働
H27年 4月	社会福祉法人 横手市社会福祉協議会	全域 9ヵ所	専任 4名	相談 429件	くらしの相談窓口 (自立相談支援事業)



#### 2017.9.22 河北新報記事より

#### <横手5人死亡火災1カ月>自立促す受け皿不足

製田県橋手市南町のアパート「かねや南町ハイツ」が全域し、5人が死亡した火災は22日、発生から1カ月を延えた、入路者25人のラ517人に精神料の通常歴があり、アパートは速度した患者やグループホームでの共同生活を好まない人が勉強で生活していく気点だった。興味のアパートは秋田県内に少なく、彼け出された入居者の多くは行き場を失ったままだ。精神等書者が助城で暮らしていくための披露を「かねや南町ハイツ」から保った。 (秋田県県・銀行かをり)





#### これまでの実践から見えてきた課題

- ・住宅部局は建物のことだけ
- 不動産情報の入手が困難
- 市営住宅の活用が困難
- ・改修の必要のない空き家はない
- 住み替えニーズは地味にある
- 地域も縦割り
  - ◆ 縦割りの解消
  - ◆ 多様な主体の連携
  - ◆ 地域拠点



横手

市居住支援協

議会

福祉と住宅 関係者の連 携が必要

やっぱり 予算も 必要



地域支援事業(高齢者の 安心な住まいの確保に 資する事業)として予算化



# これまでの成果

☆プラットフォーム会議

モデル事業受託法人検討会・・・20回 不動産・社福法人合同検討会・・・3回

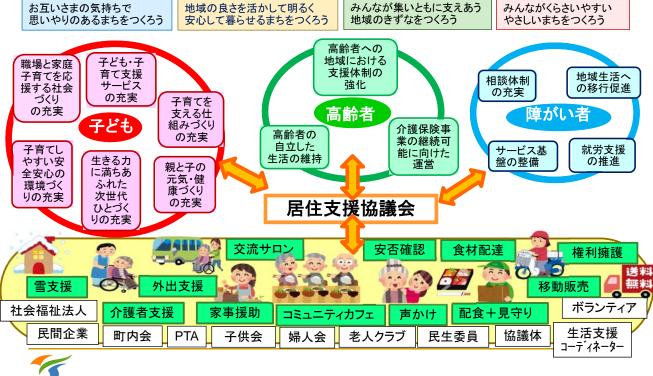
- 〇受託法人担当者は
  - 社会貢献ができた
  - 地域からの信頼が得られた
  - ・職員の意識が変わってきた
- 〇不動産関係者は
  - ・入居者への見守り支援があると 安心感がある
  - 行政・福祉・不動産業からなるネットワークが必要
    - 〇住宅部局は
      - 縦割りが解消できた
      - 業務が効率化





#### 横手市の将来像 「豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市」

みんなが主役!みんなでつくる 人にやさしいまち横手 横手市地域福祉計画基本理念 お互いさまの気持ちで 地域の良さを活かして明るく みんなが集いともに支えあう 安心して暮らせるまちをつくろう 地域のきずなをつくろう 思いやりのあるまちをつくろう



## 法人が取組に至った要因

- 社会福祉法人の横のつながりが必要。
- 地域の拠点になりたい。



地域貢献をしたい。

ビジネスチャンス

社 使福 命祉 感法



#### 法人が取組に至らなかった要因

- 定款の書き換えが必要
- ■人材不足
- ■本来の業務で手一杯
- 何をしたらよいか分からない



#### 行政がやるべきこと

- 社会福祉法人への支援
- 住宅部局と福祉部局の連携
- 不動産と社会福祉法人のプラットホーム構築
- 人事異動があっても変わらない方針

#### 地域善隣事業は、地域の相互扶助を再構築するもの

#### 最大の成果は、

☆自分自身の仕事に対するモチベーションンが上がったこと。 ☆仲間が増えたこと。

